

3月11日

今日は、3月11日です。私たちにとって忘れることができない東日本大震災が発生した日です。平成23年(2011年)3月11日14時46分に突然発生し、多くの尊い命が失われました。あれから14年の月日が経ち、復興した面も多々見られますが、心に刻み込まれた思いは、変わらないままで

す。
残された者にできることは、命を大事にする、日頃から防災を意識する、など震災の教訓を活かし、これからも逞しく生きていくことです。

日常にある小さな喜びや感動を見つけ、これからも平和で安心・安全な太宰府西中学校であり続けたいと思います。

☆ 今日の様子

○ 1年生：クラスマッチ

男子はハンドボール、女子はバレーボールをしました。大いに盛り上がり、クラスの輪が深まりました！



○ 2年生：九州国立博物館見学

九国の特別展『はにわ』を見学しました。実物を見る貴重な体験となり、熱心に見いてていました。





これは、長野県千曲市にある『森将軍塚古墳』です。前方後円墳の周りに多数の古墳が置かれています。

☆ 生徒の感想を紹介します

特別展『はにわ』に参加して、円筒はにわや家形はにわなど、色々な種類のはにわがあることを知りました。また、人物はにわの顔が1つ1つ違って可愛かったです。もっと歴史を勉強して、はにわについて理解を深めたいです。

教科書やポスターで見た物が実際に見たら大きかったり、どんな質感なのか分かりやすかったりして、眺めているだけで当時の背景が想像しやすかったです。



似たようなはにわでも矢を収めるところが違ったり、細かいところまでこだわったりしていて、面白かった。どうやって昔の人が生活していたかが分かったり、どんな服でどんな物を使っているかが分かったりして楽しかった。特に印象に残ったのは、9万年前の木ではるか昔の物なのにきれいに原型が残っていたので、歴史を感じてとても感動した。